

結成20周年
新たな大躍進
に向け出発!

日刊 動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

99.3.3 No. 4926

中江 候補 必勝

統一行動へ

3月6日～10日

中江事務所
案内図



勝利あるのみ!

▼ 船橋/勝浦市議選は、われわれの組織力・団結力がこの時代に通用するのかが社会的な審判にかけられる。動労千葉の威信をかけた闘いだ。

▼ またこの選挙闘争は、単に市議会レベルの問題にとどまらず、新ガイドライン関連法の制定に向けた国会審議がいよいよ本格的に始まろうとしているなど、戦後最大の反動攻撃との攻防の渦中で闘われる決定的に重要な闘いの課題にせりあがっている。

▼ とくに結成20周年の今年、この大きな節目をステップとして新たな大躍進運動に挑戦しようとするわれわれにとつては、どんなことがあっても負けることのできない闘いである。

中江選対発足!

▼ 2月25日、第一回動労千葉中江昌夫選挙対策委員会が開催され、別掲のとおり選対の体制を確立。

また翌26日には地元の支持者の方や推薦労組の代表など約三〇名



動労千葉中江選対発足!(2/25)



▼ 25日の動労千葉中江昌夫選対会議では、本部より船橋市議選をめぐる情勢と投票日まで二カ月間の取り組みの方針が提起され、中江市議からも固い決意が表明された。

▼ 船橋市議選は、25日現在でも39名が集まり、中江昌夫総合選挙対策委員会が発足した。中江候補必勝に向けた取り組みがいよいよ本格的に始まろうとしている。第一次統一行動(3/6～3/10)に全力で結集しよう。

の現職と42名の新人計81名の立候補が予定されており(議席50)、全国でも例を見ないほどの乱立・大激戦が予想される。しかも、旧社会党系の立候補者だけでも新人を含め7人。中江候補の地元からも新人の立候補が予定されており、革新票、地元票とも食い合いになることは必至だ。またこの間はいくつかの選挙結果を見ても明らかなおろ、投票者の意識は大きく変化し地殻変動を起しており、率直に言って開票がすむまでどのような結果がでるか予想もつかない状態だ。

▼ われわれの底力が問われている。選挙戦の情勢は厳しくとも、中江市議の16年間のずば抜けた実績と、反戦・平和に向けたひとすじの道を一貫としてつらぬきとおしている姿を市民のなかにくまなく浸透させることができれば必ず勝てる闘いだ。第一回中江選対会議においてわれわれは、「全組合員一カ月一回行動」を軸に二カ月間の取り組みの方針を決定した。いよいよ動労千葉の持てる力を全力で発揮すべきときがきた。全組合員の総行動を!

動労千葉中江昌夫選対

選対委員長 布施 宇一 (本部)
選対副委員長 君塚 正治 (新小岩)
菅 仁 (津田沼)

中江昌夫総合選対も発足!(2/26)



事務局長	繁沢 敬一 (幕張)
事務局次長	小倉 邦夫 (千葉転)
選対委員	田中 康宏 (本部)
	高石 正博 (千葉機)
	滝口 誠 (千葉機)
	的場 正和 (千葉機)
	古川 政史 (千葉機)
	石川 義雄 (京葉)
	吉野 幸成 (京葉)
	白井 敏行 (本部)
	佐藤 博 (本部)
	清水 匠 (本部)
	山田 護 (本部)
	関 道利 (本部)

● 第一次統一行動!
● 3月6日(土)～10日(水)
● 中江事務所へ

大失業と戦争の時代に通用する新しい世代の動労千葉を創りあげよう!